



講師から手ほどきを受け、タイの三枚おろしに挑戦する児童↑

★ 自 活き生き鯛料理体験教室 分でタイをさばいてみよう

長島町立幣串小学校（坂元英透校長）は2月2日、東町漁協鯛部会の6人を講師として招き「活き生き鯛料理体験教室」を開きました。メニューはタイの刺身、タイごはん、このほか子どもたちのリクエストで、ブリのハンバーグやタイのアラそうめん、塩焼きなど5品を作りました。

この日児童らは、高学年がタイを3枚におろし、低学年は3枚におろしたタイを刺身にしました。悪戦苦闘しながらの体験となりましたが、自分たちが調理したこともあって「おいしい」と言って食べていました。6年生の下永明慧君は、「獅子島の魚はおいしいといろいろな人たちに伝えたい」と話しました。

目録を手渡す吉井秀之理事長（左から2人目）↓



★ 美 NPO 法人から桜の苗木贈呈 しい島づくり事業に感動

2月20日、地球温暖化防止活動を行う出水市のNPO法人ハウツー21クラブ（吉井秀之理事長）から、桜の苗木7本が町に贈呈されました。

同法人は、リサイクルの一環として「台所から二酸化炭素を削減しよう」と呼びかけ、本町のてんぷら油を回収。環境保全や自然保護を中心に活動を展開しています。

この日は、同理事長が町長室を訪れ「長島で行われている町民総出の花づくりに感激している。今回の桜はぜひ獅子島に植えさせてほしい」とあいさつしました。今後この桜は、七郎山の展望花壇に植栽する計画で、同法人が獅子島のてんぷら廃油の回収時に定植することになっています。



一斉にスタートし、何分跳べるか競う持久跳び↑

ま
ち
の
話
題

1